

実施日時	平成 24 年 11 月 29 日 (木) (19:00~20:10)		
実施場所	高山コミュニティセンター	参加人数	14 人
参加対象	高山地区振興会		
市側の出席者	市長 農林課主事		
懇談内容	<p>1. 発言者</p> <p>① 十日町病院の建設計画について市はどのようなことを考えているか。</p> <p>② 高山コミュニティセンターに駐車場がない。新設等なんとかできないか。</p> <p>A. 市長</p> <p>① イメージとしては、現敷地南側に 7 階建ての病院が建つ。現在の病院の機能に色々なものが付加される予定で、消防の救急車を配備するなどの機能も充実する。</p> <p>② できるだけ適地を見つけて、対応していくというのは当面必要。今後の保育所の在り方も含めて検討することが必要である。</p> <p>2. 発言者</p> <p>・高田町 5 丁目の市道で、非常に狭くて曲がって急な坂道がある。脇に大きな農業用水路があり、危険である。市で側溝のふたをできないか検討いただきたい。</p> <p>A. 市長</p> <p>・柵をするとすれ違いが厳しくなるので、蓋かけなど、何ができるか検討したい。</p> <p>3. 発言者</p> <p>① 芸術祭の作品で市街地に作品が少ないのはなぜか。自然がないので作家が興味がわからないのか。</p> <p>② 十日町には宿泊施設がない。湯沢に泊まって見に来ても、結局湯沢にお金が落ちてしまう。</p> <p>A. 市長</p> <p>① 市街地にできないのは作家のイメージとマッチしない部分があるからだと思う。例えば食べ物や文化とか生活の仕方だとかをうまく作家の目で捉えてもらえばいいものがでてくるのではないか。皆さんが手を上げて作家と話し合いをすれば見つかるのではないかと思う。作品を作る過</p>		

程等、何を発信したいのかという観点で考えてもらおうと案外いい場所が見つかるのでは。

- ② 宿泊施設は学校などを利用して徐々にできている。しかし、この頃は、雪国観光圏のつながりで、7市町村がお互いに栄えようという取り組みが始まっている。我々も徐々に宿泊施設を増やしていくなかで、越後妻有十日町も観光地として発展していくという方向性にいかなければならないと思う。

4. 発言者

- ・芸術祭が終わっても県外の車が走っている。芸術祭は盛り上がるが、その他の既存の観光資源が廃れてしまう。芸術祭と既存の観光資源をうまくリンクしながら通年観光を目指していただきたい。

A. 市長

- ・芸術祭はどんどん大きくなる。越後妻有のブランドが形になっているので、そこは活かしていかなければならない。それをきっかけに、来訪された方が例えば四日町の観音様を見て感動するなどが大事。その中でうまく既存の観光資源も発信しなければいけない。